

みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2005/04/15 Vol. 56 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

印西市議会/平成 17 年第 1 回定例会報告 (4)

～ 北総線の運賃問題を問う。通学定期券だけですか？

いつもお世話になっております。印西市議会第 1 回定例会 (3 月議会) は、3 月 25 日 (金) まで開催され、閉会しました。今回は、3 月議会での私からの一般質問、市執行部からの回答を中心にご報告していきたいと思います。

2/23 (水曜日) に、代表質問に立ちました。

以下、市当局の回答です。

市長公約と今後の市政運営について

山崎市政最初の予算編成にあたり、市長公約はどのように盛りこまれ、今後の市民生活はどのように変わるのか。

3 北総線の運賃問題について

市長公約では一般財源出動による通学定期券に対する「育英補助金」を掲げ、新年度からの予算に盛り込まれているが、高齢者を中心とした一般の市民には引き続き多くの負担が残る。

(1) 京成グループへの働きかけはどのように行っているのか。

また、成田新高速鉄道が開通した際の運賃政策について、どのような話し合いがされているのか。

(回答 / 市長) 北総線の運賃問題につきましては、私も就任以来、千葉ニュータウン事業の推進を図るためにも、また、市民の利便性の向上を図るためにも解決しなければならない問題として、鋭意取り組んでまいりました。議員ご質問の京成グループへの働きかけにつきましては、去る、1 月 2 4 日に京成電鉄株式会社に出向きまして、花田社長に、「2010 年に成田新高速鉄道が開通した際に、成田空港駅から京成上野駅間の運賃について、経路方法によって差が出ないように運賃の平準化を図っていただきたい」ということと、「千葉ニュータウン中央駅周辺の都市機能を高めるためにもスカイライナータイプの千葉ニュータウン中央駅に停車をしていただきたい」ということなどを要望してまいりました。この要望に対しまして、花田社長からは、「運賃問題については、認識をしている」といった話がありました。

(2) 国や県に対する働きかけは行っているのか。市長就任以来、この問題に関して

いつどのような行動をとったのか。その結果はどのようなものであったのか。

(回答 / 市長) まず、国への働きかけにつきましては、書面をもつての要望は特に行っておりませんが、国土交通省に行った際に、口頭でお願いをしております。

次に、県への働きかけにつきましては、北総線の高運賃問題について、積極的に対応していただくようお願いをしており、この結果、昨年 1 月 2 2 日付けで、知事名で北総鉄道株式会社に対し「北総線の通学定期の割引率の引き上げ」の要望をしていただきました。

いずれにいたしましても、北総線の運賃問題につきましては、今後もことあるごとに京成グループをはじめ、国及び県にたいしまして、粘り強く働きかけてまいりたいと思います。

(ぐんじとしのりからの執行部への再質問と回答)

市長が要望を行なっているのは理解しましたが、その要望は文書で出すべきだと考えます。

運賃問題に関して言えば、今後の「成田新高速鉄道建設」について、スケジュール管理 / 把握を充分に行なっていくべきだと思います。現在は充分にできていないように思います。

鉄道建設にあたり、印西市は莫大なお金(約 5.5 億)を抛出します。2010 年に成田新高速鉄道が開通しました。しかし、運賃は下がらない、スカイライナーは時速 130 km で駅をうなりをあげて通過します。これで、市民は納得できるのでしょうか。今後、印西市は何をしていくのでしょうか？

再質問 / 今後、書面を持参しての要望活動が必要であろうと思うが、どのように考えているか。

(回答 / 市長) 市長に就任してから何度か北総鉄道の亀甲社長、小江常務とお会いいたしまして、現状は私のほうからる申しあげたわけですが、その中でどうしても思い浮かぶことが、本丸はどこだということでありまして、総務部長と相談いたしまして、本丸は京成電鉄というようにターゲットを絞りまして、なんとしても京成電鉄のトップと話をしなければならないということで総務部長に話をし、アポをとるということで、過日お会いするということになりました。文書では要望を提出してごさいませんが、1 時間半もの間、長くいろいろな事情についてご説明申しあげ、ご認識をいただいたというところですが、今後についても早く私たちの印西市の要望については時間を取って聞いてくれるというお話をしていただきましたので、機会あるたびに粘り強く京成電鉄にお願いをしていきたいと思っております。

再質問 / 要望事項についてですが、スカイライナータイプの停車も必要であろうと思うが、今、現在、市民の利便性を考えた場合には、通勤における例え、夜間の特急運転、週末だけの夜間電車の増発、直通運転を少なくとも高砂止まりの電車の増発、女性専用車両の設置、期間を限定している乗り放題切符の恒常化など、実現可能性は低いかもしいないが、市民の声として北総鉄道株式会社に言うておくことは必要だと思いますが、利便性における印西市の考えを聞きたいと思います。

(回答 / 総務部長) 北総鉄道については、北総鉄道利用促進協議会といたしまして、県が事務局を持ちまして、松戸市から印旛村まで入っているのがございまして、現在年に 1 回なのですが、こういう中でやはり今後の利便性をさらにアップしていただきたいというようなお話、当然北総線も出ていらっしやいますので、やっております。

再質問 / この一般財政出動における補助金制度を北総鉄道株式会社はどのように捕らえているか把握していますか？印西市としては聞いておくべきであると思うが、聞いていますか。

(回答 / 総務部長) 北総の今回の私どもの財政出動の予定について、北総はどう見ているかと、何回かはお話をしているのですが、利用者の拡大につながるだろうと、それから人口の減少に歯止めがかかるだろうという期待感には彼らもっております。しかし、当方は、市長が先ほど申しあげたように、5 年後のプラス要因に何とか展開したいと、そういう足がかりにもしなくてはならないというような考え方で、ちょっとやっぱり温度差はあると思っております。

(ぐんじとしのりから / 市民の皆様へ)

* 今回の質問は当初予算審議のおよそ 1 ヶ月前に行ったものです。

紆余曲折の後、何とか「地域限定通学定期企画乗車券(通学定期券)」への補助を実施することが、3/24 (木曜日) の市議会にて可決しました。しかし、引き続き高齢者を中心とした一般の市民には鉄道利用にあたり多くの負担が残ります。今回の紙面ではご紹介できませんでしたが、市から県への働きかけは十分なものではありません。私は今後、市民の皆様の切なる声を充分汲み、北総鉄道や京成電鉄の働きかけや国や県への要望活動を市の執行部と共に行って参りたいと思います。

(2004 年 12 月 14 日に北総鉄道から報道関係に発表された資料によりますと、平成 16 年度利益見込みは「鉄道運輸機構」に対する返済により、年度末には約 10 億円の資金不足が生じるとなっています。)

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回も 3 月議会の報告を行ってまいります。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思います。よろしくお願い致します。

ぐんじとしのり